

三郷市立栄中学校学校だより



澆刺颯爽 栄中

～熱意・誠意・鍛錬～

目指す生徒像

礼儀正しく、

本気でやり遂げる生徒

～あはれの学校～

令和7年2月3日 第11号 生徒数 1年167名 2年147名 3年161名 計475名

スキー教室を終えて

教頭 須賀 一永

1月22日(水)から24日(金)の3日間、長野県の志賀高原にある竜王スキー場にて1年生のスキー教室を行いました。天候にも恵まれ、けがや病気で体調をくずす生徒もなく無事に終えることができました。

本部の窓から生徒の様子をみていると、子供たちが「みるみるうちに」スキーが上達していく様子が見られ、嬉しくなりました。そんな時、ふと自分が初めてスキーを行った日のことを思い出していました。

私が初めてスキーを行ったのは高校生の冬、所属していた山岳部の冬合宿前のスキー訓練です。夜行列車に揺られ、夜中に上越国境の小さな駅に降り立ちました。寝床は駅の待合室。この駅は一晚中待合室にストーブが炊かれていることで有名で、しかも駅前にリフト1本の小さなスキー場があるのです。当時はバブル真最中で、多くの若者は冬になればスキーに行っていました。ゲレンデでのロマンスを唄った歌が流れた頃でもあります。思春期真只中で悩みの多かった私は寝袋に潜り込みながら、「よし、明日の訓練でバリバリ、スキーを覚えて、楽しい学生生活の武器にするぞ!」と夢と希望に胸を膨らませて眠りについたことを覚えています。

しかし、翌日の朝から始まった訓練は大変でした。ふもとの緩斜面で少しだけ板を履いての歩行や転び方を行ったら、その後は何も教わることなく、リフトに乗って上まで行きました。ここのスキー場のリフトは1本だけなのですが、経験者でも楽しめるように、上部は結構急な斜面でした。滑る→恐ろしくてすぐ転ぶ→体力を消耗しながら立ち上がる→滑る、の無限ループをひたすら繰り返したただけでした。1日終えて得たものは、「やっと帰れる」という安堵感と「こんなはずじゃなかったんだけどな」という寂しい思いだけでした。

長々と自分の昔話を書いてしまいました。スキー教室に引率する度にこの経験を思い出し、改めて「教えることの大切さとむずかしさ」を実感しています。教わる側・生徒の状況をよく理解、把握をして、適切な支援や指導を行うことがいかに大切なのかということ。スキー実習は、それができているから、生徒たちがけが無く、短期間で上達できるようになるのです。スキーに係わらず、これは学校生活すべてにおいて基本になることです。もちろんすべてのことを短期間で合理的に行うことがいいこととは思いません。だからこそ私たちは教師として「教える」ことについて日々、研究と修養に努めなければならないのだな、と実感しました。

最後に、私は高校時代の自分の経験を「二度と思い出したくない」などとは思ってはいません。あの時はあの時で全力で頑張った。ただ結果としてうまくいかなかっただけです。今となっては、「まあ、あれは大変だったなあ」、「いや、むしろなかなかできない貴重な体験だったなあ」、「あの時、一緒に転んだ仲間たち、懐かしいなあ」と思っています。ですから、生徒のなかで「スキー教室、あまり楽しなかったな」と感じている人がいたら、「大変だったけど、3日間自分は頑張った」と自分を認め、これからの学校生活に向け、一緒に頑張っていきましょう。応援していきます。

保護者の皆様、スキー教室の実施に向け、事前の準備からご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

2月・3月の予定

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
	千葉県公立出願入力最終日 SC来校	千葉県公立出願書類提出 (～6日) PTA理事会	ノー部活動デー 校内研修 5時間授業	なし日程 専門委員会		
9	10	11	12	13	14	15
三郷市マラソン大会	埼玉県公立出願入力期間最終日 1,2年実力テスト テスト日程 SC来校	建国記念の日	ノー部活動デー 千葉県公立出願志願先変更 (～13日)	なし日程 埼玉県公立出願書類提出(郵送) JOC実施2年中央委員会	JOC実施2年	
16	17	18	19	20	21	22
グランドゴルフ	SC来校	3年学年末テスト テスト日程 埼玉県公立志願先変更 千葉県公立学力検査	新入生説明会 テスト日程 1,2年5時間授業 3年学年末テスト 埼玉県公立志願先変更 千葉県公立学力検査	ノー部活動デー ふれあいデー なし日程 3年学年末再試	諸活動停止 (～26日) 3年学年末再試 千葉県公立追検査受付	
23	24	25	26	27	28	3月1日
天皇誕生日 グランドゴルフ予備日	振替休日	生徒朝会・表彰 月曜授業 5,1,2,3,4 千葉県公立追検査受付	1,2年学年末テスト テスト日程 埼玉県公立学力検査	1,2年学年末テスト テスト日程 埼玉県公立実技・面接 千葉県公立追検査	学年末再試日	市P連理事会・会長会
2	3	4	5	6	7	8
	学年末再試日 埼玉県公立追検査 SC来校	3年生生きる教育講演会 千葉県公立発表	ノー部活動デー	なし日程 専門委員会 埼玉県公立発表		
9	10	11	12	13	14	15
	SC来校	ノー部活動デー なし日程 中央委員会	3年給食終了 なし日程 卒業式予行結ぶ会	5,6卒業式準備	卒業証書授与式	
16	17	18	19	20	21	22
	SC来校		ノー部活動デー ふれあいデー 1,2年給食終了	春分の日		
23	24	25	26	27	28	29
	3時間授業	3時間授業 集会・学活・大掃除	修了式 ノー部活動デー	学年末休業日 (3/31)		
30	31	4月1日	2	3	4	5
	辞令交付式 先生方との別れの会 (任意)	春季休業日 (～4/7)	※令和7年度の始業式・入学式は4月8日(火)です。持ち物等は、各学年からでる「春休みのしおり」をご覧ください。			

1月22日(水)から24日(金)までの3日間、1年生が長野県志賀高原の竜王スキー場にてスキー教室を実施しました。初日は高速道路の渋滞に巻き込まれてしまい、ホテルへの到着が遅れましたが、生徒は先生方の指示に落ち着いて従い、臨機応変に対応できました。

ほとんどの生徒がスキー初体験でしたが、インストラクターの指導を受け、めきめきと上達して、2日目最後のフリー滑走では多くの生徒が友達と楽しそうに滑っていました。

おかげさまで、大きなけがや病気等の生徒も出ませんでした。宿泊を伴う行事をとおして、友達の普段は見えない良さをたくさん発見した3日間となりました。



教育委員会では、三郷市立小・中学校通学区域編成審議会を設置し、学校の大規模化が進む栄中学校と小規模化が進む前川中学校の通学区域の変更について検討してまいりました。この度、同審議会からの答申を受け、栄中学校と前川中学校の通学区域を一部変更する方針を定めましたのでお知らせします。

＜方針の主なポイント＞

- 戸ヶ崎小学校の通学区域全域を前川中学校の通学区域に変更します。
- 令和8年4月入学の新1年生（現在の小学5年生）から適用します。
- 既に在校している中学生は、引き続き同じ学校に通学できます。
- 兄弟が現在在籍している場合は、希望に応じて弟妹が同じ中学校に入学できるように配慮します。（兄弟が卒業する場合は除きます。）

今後、戸ヶ崎小学校にて説明会を予定しておりますが、日程につきましては、改めてお知らせいたします。

教育委員会の方針並びに審議会の答申及び会議録はこちらから



担当 教育総務課教育環境整備室
電話 048-930-7830 (直通)

評価結果については4を満点として評価したものの平均値を記載しています。

令和5年度 三郷市学校評価システム 本評価:学校関係者評価シート							
評価項目	評価項目	No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え	
組織運営等の状況	教育目標	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.31	3.44	「決裂風災」～熱意・誠意・信頼～を学校教育目標として掲げ、「礼儀正しく、本気でやり遂げる生徒」を目指して児童として教育活動に取り組んでいる。一人一人の教職員が持てる力を結集し、一人一人が生徒の「成長」のために取り組んでいる。	
		2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあっている。	3.23		学校教育目標の具現化に向けたプロセスの中で、学年・学級・分掌がそれぞれに機能していると考えられる。「PD」だけでなく「CA」にまで力を置き、さらなる向上を図りたい。各行事と通常開閉による、生徒達が行事等について自ら考え、行動(体験)し、学び、反省するようサイクルを意識した取組を実施した。	
		3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.19		「社会に目を向け教育の一環としてNIE教育を今年度も引き続き推進している。学期1回(年3回)新聞の新聞を購読・読み比べし、新聞のよさを知り、読む習慣を養成している。・新聞コングレム(NIE教育)県入賞9名、学校奨励賞。	
		4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.19	3.67	の夢を支援に対して、先輩からの指導や支援を活用したり、資料や書籍等を活用し、自らの考えを実現させる方法を模索している。新聞コングレム、家族郵便。社会を明るくする運動・人権作文等に参加しチャレンジする風を醸成している。	
	児童向上	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.77		・全体対面や各種会議の場で、倫理確立委員会による研修、情報共有を行っている。新聞記事でのリアルタイムの情報提供や自分なりのように対処するのかを常に問いつけることで当事者意識を持てるようにしている。	
		6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.23		・昨年度の「学力向上の推進(三郷市委嘱)」の総まとめとして研修部会を中心として研修に取り組んでいる。教科指導以外にも生徒指導、教育相談についての研修に取り組んでいる。	
授業等の状況	学力向上	7	学校は、児童生徒の実態を把握し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.27		・学校独自の学習アンケートを定期的に、「主体的」「対話的」「深い学び」の実現に向けた各教科の方向性を検討するなど実態把握指導改善に努めることでできた。ICJを効果的に取り入れることにより他の意見と自分の意見とを短時間で対比させることができるようになった。	
		8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.42		・三郷市の授業振り返り意見書10を意図し、授業を行うことができた。基礎的・基本的な学力は身につけているので、それらを活用する学習展開の方向性を、基礎を強め、さらなる向上を図る。今後「みらい」のドリルカードを活用し、つまりきを解消し、基礎的な基本的な学力を身につけようとしている。	
	授業規律	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあっている。	3.08		「チャーム」「愛敬努力」「あいさつ」に特に重点を置き、指導を行っている。学習環境に乱れが見られるクラスがあるので、授業の心得10の原則に従って指導している。	
		10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	2.96	3.11	授業規律を実施し、1時間18分の授業の目標を学級で振り返り、共有できるようにしている。授業計画は目的ではなく手段であり、また、一部の生徒の言動で学級全体を一括しつないため、評価の適切な方に気を付けなければならない。	
	読書のまち	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.58	3.89	・メディアセンターの充実、司書の活用、授業での利活用により、図書館経営の充実と読書活動の推進を図っている。学年が上がるにつれて図書館から貸し出しの多いことへの指導が課題である。	
		12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.58	3.89	・新読書、教職員が読書の本の学校使用での紹介等は継続している。各分掌ごとに読書活動に子ども自ら率先するよう全校関連の本の紹介などを行っている。学校図書蔵書貸し出し冊数2学期末で一人平均25.6冊、貸し出し冊数74件であった。	
健康・体力	健康・体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.65		・栄養教諭による全学級での栄養指導を実施している。市内でも食育が少ないことは指導の成果といえる。また栄養教諭と担任による食育に関する学級活動も実施することができた。	
		14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.31	3.44	・保健体育授業における運動の楽しさや味わえるような授業や昼休みの体育館活動を通じて意欲を高める取組を行っている。来年中の取組では自分の記録を伸ばすことと選手として体力向上に励むことを生きている。	
	運動の推進する道	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道德教育の改善に取り組むとともに道德教育を積極的に推進している。	3.04		・学年担当教師全員によるローテーション道德を実施している。指導事項の確かな指導とともに、教職員の個性を生かした授業を行っている。しかし、教科書中の題材をメインにしているため、生徒や地域の実態に応じた道德教育にならない。	
		16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道德性を養うとともに、道德的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.15		・道德の授業のみではなく、学校で起こる様々な出来事に対し、学年・学年・学校で考える機会をもち、他人事ではなく自分事として捉えることで道德性の涵養を図っている。	
	指導・管理の状況	生徒指導	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.12		・生徒があがれる教師を目指して教育活動の実践に向けて、率先規範意識を高める指導を行っている。教職員の言葉使いや、服装・身だしなみに合わせて指導している必要がある。
			18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるよう指導している。★	3.38	3.67	・週2回の生徒会本部の挨拶運動や地域の方々や保護者の方々との朝の挨拶運動により、挨拶をする習慣はできている。また来校者へ対しても大きな声で挨拶ができる生徒が多い。
19			学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.12		・教員の率先指導とともに、TPDにおける言葉遣いの指導を行っている。言葉遣いの重要性を認識し、今後指導を行っていく。言葉遣いが良い場合は、やり直しをさせるなど、学校としての統一感を持たせるようにしていく。	
20			学校は、児童生徒の不登校や問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.15		・生徒指導部会、教育相談部会を定期的に実施し、情報交換と対策の検討を行っている。教育相談では50以上の専門機関と定期的に「アポイントメント」を行い、今年度は、生徒指導部会との事例研究も実施した。	
21			学校は、保護者が必要に応じ関係機関と連携を図り、児童生徒の指導にあっている。	3.27		・保護者や会や団体、日常的な連絡により、保護者との連携を図っている。特に欠席者や気になる生徒については放課後保護者の方へ連絡をしている。またケースによっては関係機関と連携している。	
22			学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.27	3.22	・定期的なアンケートを実施している。アンケートだけでなく、各学年フロアに教員が必ずいるようにし、学校生活の様子を観察し、生徒指導を図っている。「アンケートによる訴え」という表に出る前にかみかきとわかるのが重要である。	
安心・安全	安心・安全	23	学校は、事故やトラブルに際するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.42		・学校の事故対応マニュアルを職員室に掲示し、いつでも確認できるようにしている。各教室には事故対応マニュアル、指示カードがあり、迅速な対応への体制をとっている。	
		24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.46	3.89	月に1度の安全点検に限らず、危険な箇所や破損などは日常的に確認している。出てきた箇所については管理職の確認を行い、職員での対応が難しいときは早めに業者対応している。自転車通学に関する指導事例の紹介とともに、安全意識の向上を図っている。	
	教育環境	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れている等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.08	3.22	・短時間でもきれいにすることができている。清掃活動での全校の約束事を再度確認しなければならないところもある。また、授業開始時に「み」がない状況で授業が開始できるようにしている。	
		26	学校は、組織的に働き方改革を進めている。	2.77		・会議、行事の精選、目的活動の充実、ふれあいデーの定時退校などの取組を進めている。働き改革の目標を再確認し、今後とも取組を行っていく。定時退校のワークでは、退校時刻を守ることができた。しかし活動がある限り、定時退校が難しいと実感した。	
	家庭・地域との連携	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.15	3.22	・日々の生活や行事の情報は各種通信等を中心に行っている。学校HPと関連させることで、生徒や保護者に努めている。学校HPについては、どまての個人情報開示すかに、HPのやり方の変更について、子どもたちの活動の様子や表彰者の名前開示など情報発信について地域に理解を求める必要がある。	
		28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.04	3.56	コロナ禍での活動制限が無かったが、地域の方を学校に呼び込むために再度組織作りをしなければならなかった。今年度は、育成会による地域懇話会やPTAによる「サカサエ」を開催することができた。	
29		学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.31	3.44	・PTAとの連携として行っている「資源回収」では「花袋せせ」のボランティア活動も実施している。毎年度の教職員が参加している。(4月・7月・12月実施)、PTAや育成会の力を得て、毎朝のあいさつ運動を実施している。教職員もローテーションで挨拶運動に参加している。		
★マークが付いている評価項目については、必ず学校関係者評価を実施する。							